

国立大学法人島根大学 財務状況

平成22事業年度

財務部財務課

貸借対照表の概要

(単位:百万円)

資産の部	21年度末	22年度末	増減	負債の部	21年度末	22年度末	増減
〔固定資産〕	52,772	54,861	2,089	〔固定負債〕	15,062	18,541	3,479
土地	17,934	17,934	0	資産見返負債	6,708	7,623	915
建物・構築物	36,840	37,055	215	借入金	7,510	10,476	2,966
機械・備品	10,920	11,936	1,016	その他	842	441	△ 401
図書	3,729	3,747	18				
減価償却累計額	△ 19,273	△ 22,579	△ 3,306	〔流動負債〕	7,460	9,223	1,763
その他	2,617	6,763	4,146	運営費交付金債務	0	446	446
				寄附金債務	1,254	1,246	△ 8
〔流動資産〕	9,012	11,147	2,135	借入金	655	672	17
現金・預金	6,097	7,513	1,416	未払金	4,838	5,559	721
未収金	2,505	3,201	696	その他	711	1,297	586
有価証券	199	199	0	負債合計	22,522	27,765	5,243
その他	209	230	21				
				純資産の部	21年度末	22年度末	増減
資産合計	61,784	66,008	4,224	資本金	38,805	38,805	0
				資本剰余金	△ 1,801	△ 3,351	△ 1,550
				利益剰余金	2,258	2,789	531
				目的積立金	280	0	△ 280
				積立金	776	1,590	814
				当期末処分利益	1,202	1,198	△ 4
				純資産合計	39,261	38,243	△ 1,018
				負債・純資産合計	61,784	66,008	4,224

注) 百万円未満切捨

損益計算書の概要

	21年度	22年度	増減
経常費用			
業務費	26,836	26,090	△ 746
教育経費	1,699	1,414	△ 285
研究経費	1,497	1,253	△ 244
診療経費	7,120	7,187	67
教育研究支援経費	412	380	△ 32
受託研究費・受託事業費	634	572	△ 62
人件費	15,471	15,282	△ 189
一般管理費	1,132	976	△ 156
その他	210	228	18
経常費用合計(A)	28,180	27,294	△ 886
経常収益			
運営費交付金収益	10,407	9,970	△ 437
授業料・入学金・検定料収益	3,815	3,814	△ 1
施設費・補助金等収益	927	445	△ 482
附属病院収益	11,457	12,310	853
外部資金等収益	993	968	△ 25
資産見返負債戻入	458	676	218
その他	315	293	△ 22
経常収益合計(B)	28,377	28,481	104
経常利益(C)=(B)-(A)	197	1,186	989
臨時損失(D)	0	0	0
臨時利益(E)	649	0	△ 649
当期純利益(F)=(C)-(D)+(E)	846	1,186	340
目的積立金取崩額(G)	355	12	△ 343
当期総利益(H)=(F)+(G)	1,202	1,198	△ 4

教育に関する状況

●教育関係経費

学生 1 人当たりの教育関係経費 86万円

教育関係経費(5,303百万円)／学生数(6,182人)

学生の教育に要した教育関係経費は、教育経費約14億14百万円、教育研究支援経費約1億90百万円及び教員人件費約36億99百万円となっています。

これらの総額約53億03百万円を学生1人当たりに換算すると約86万円となります。

注)教育研究支援経費及び教員人件費は、教育と研究に区分することが困難なため、それぞれ半分を教育関係経費としています。

(参考)学部学生の年額授業料:535,800円

●図書

学生 1 人当たりの図書 61万円
143冊

図書(882千冊, 3,747百万円)／学生数(6,182人)

図書冊数及び学生数は、平成23年3月31日現在の数です。

●入学科・授業料免除

授業料免除の割合 6.6%

授業料免除額(214百万円)／授業料収益(3,239百万円)

本学では、入学科や授業料を免除する制度を設けています。平成22度においては、入学科約6百万円、授業料約2億14百万円を免除しました。

授業料免除額は、授業料収益の約6.6%に当たります。

研究に関する状況

●研究経費

教員 1 人当たりの研究経費 166万円

研究経費(1,253百万円)／教員数(756人)

運営費交付金・寄附金・自己収入等を財源とする本学の研究経費は、総額は約12億53百万円です。

教員1人当たりに換算すると約166万円となります。

注)研究経費には、消耗品・備品費、旅費交通費、水道光熱費、減価償却費等が含まれています。

●受託研究・受託事業経費

教員 1 人当たりの受託研究・受託事業経費 76万円

受託研究・受託事業経費(572百万円)／教員数(756人)

受託研究費約3億95百万円、受託事業費約1億77百万円の合計5億72百万円です。

教員1人当たりに換算すると約76万円となります。

注)これらの経費には、消耗品・備品費、人件費、水道光熱費、減価償却費等が含まれています。

●教育研究支援経費

教員 1 人当たりの教育研究支援経費 50万円

教育研究支援経費(380百万円)／教員数(756人)

教育研究支援経費は、附属図書館、大型計算機センター等の特定の学部等に所属せず、法人全体の教育及び研究の双方を支援するために設置されている施設の運営に要する経費で、総額は約3億80百万円です。

教員1人当たりに換算すると約50万円となります。

診療に関する状況

●附属病院セグメント情報

(単位:百万円)

区 分	20年度	21年度	22年度
教育・研究経費	266	253	287
診療経費	6,518	7,121	7,188
受託研究・事業費等	144	136	108
人件費	6,249	6,320	6,476
一般管理費	96	126	161
財務費用、雑損	214	202	207
業務費用計	13,487	14,158	14,427
運営費交付金収益	2,508	2,530	2,473
附属病院収益	11,006	11,458	12,310
受託研究・事業等収益	144	136	109
寄附金収益	93	76	73
財務収益、雑益	257	336	456
業務収益計	14,007	14,536	15,421
業務損益	520	378	994

●診療に関する情報

区 分	20年度	21年度	22年度
入院患者延数(人)	185,432	179,870	181,086
外来患者延数(人)	228,656	228,149	229,625
平均在院日数(日)	17.8	16.4	16.1
医療費率(%)	33.9	36.4	33.9

注)医療費率=(医薬品費+診療材料費)÷診療報酬請求額

★ 病院再開発事業(平成24年度完成予定)



◆病院再開発全体スケジュール



- ◆新病棟(平成23年6月下旬開院予定)
鉄筋コンクリート造(免震構造)9階建
延床面積 約17,500㎡
- ◆既存病棟の全面改修 約20,000㎡
- ◆既存外来・中央診療棟の全面改修 約22,000㎡

【新しい病床配置の特徴】
集約的環境整備による集学的・総合的な治療から治療効果の向上と医療安全対策の推進を図ります。

管理に関する状況

●人件費

人件費比率	58.6%
人件費(15,282百万円)／業務費(26,090百万円)	

人件費は約152億82百万円で、前年度と比較すると1億90百万円減額しています。減額の主な要因は、退職手当の減額によるものです。

(単位:百万円)

区 分			20年度	21年度	22年度
役 員	給与等	常 勤	105	104	103
		非常勤	2	2	2
	退職給付		59	0	0
	小 計		166	106	105
教 員	給与等	常 勤	6,988	6,867	6,759
		非常勤	218	258	261
	退職給付		451	521	378
	小 計		7,657	7,646	7,398
職 員	給与等	常 勤	6,222	6,570	6,664
		非常勤	836	542	572
	退職給付		605	608	543
	小 計		7,663	7,720	7,779
給与等計		常 勤	13,315	13,541	13,526
		非常勤	1,057	802	835
退職給付計			1,114	1,129	921
合 計			15,486	15,472	15,282

●一般管理費

一般管理費比率	3.7%
一般管理費(976百万円)／業務費(26,090百万円)	

一般管理費は約9億76百万円で、前年度と比較すると約1億56百万円減額しています。減額の主な要因は、前年度の医学部本部棟改修に伴う修繕費の減額及び医学部本部棟改修に伴う移転費など雑費の減額などによる減によるものです。

(単位:百万円)

区 分	20年度	21年度	22年度
消耗品費	84	82	70
備品費	20	30	7
印刷製本費	21	19	20
水道光熱費	142	145	162
旅費交通費	49	59	58
通信運搬費	20	14	16
賃借料	10	8	8
福利厚生費	15	27	17
保守費	178	180	188
修繕費	175	216	91
保険料	35	41	44
広告宣伝費	23	28	35
報酬・委託・手数料	80	122	134
租税公課	36	37	28
減価償却費	53	49	52
その他、雑費	52	75	46
一般管理費計	993	1,132	976

教育研究診療環境の基盤整備

教育研究環境の基盤整備は、国からの施設費補助金の交付、また、附属病院の診療環境の整備は、主として借入金により行います。この他に、目的積立金を財源に教育研究診療環境の整備を行っています。

◎平成22年度基盤整備状況

《補助金、借入金による整備》

★教育研究設備整備 93百万円

★附属病院の診療環境の整備
基幹環境整備、病棟再開発 41億94百万円
医療機器整備 37百万円

《目的積立金による整備》

★学生寄宿舎の整備 81百万円
実施設計、仮設道路、仮設工事等

★附属病院の診療環境の整備 64百万円
医療機器整備



学生寄宿舎整備計画の概要

平成22年度には、修学環境の整備を図り、良好な学生生活環境を提供するため、学生寄宿舎の整備計画を決定しております。

平成23年度には168名が収容可能な学生寄宿舎を新たに新設し、また、平成24年度には既設の学生寄宿舎を150名を収容できるように改修整備するものであります。

事業規模は2カ年総額14億35百万円で、長期借入金と目的積立金により整備を行うものであります。



学生寄宿舎完成イメージ

島根大学支援基金

島根大学の目標・理念を達成するとともに、国立大学法人としての教育研究基盤の一層の充実・強化に資するため、平成18年12月に「島根大学支援基金」を創設し、平成22年3月末日までを第1期の募集期間として、学内外の皆様からご寄附をいただきました基金は、島根大学ホール新営事業や国の登録有形文化財に登録されました「旧奥谷宿舎(旧制松江高等学校外国人宿舎)」の修復事業の援助及び学生の修学支援に活用させていただきました。

平成22年4月からは第2期中期目標・中期計画が始まり、「学生満足度の向上」に向け、学生に対する修学支援を一層充実させるため、平成22年4月以降も引き続き「島根大学支援基金」を募集しております。

◎学生の修学環境の整備充実

★修学支援事業

1. 奨学金制度の充実
2. 学生の学会、研究会等への旅費等の援助
3. 海外留学費用の援助
4. 就職活動への援助
5. ボランティア・課外活動等への援助
6. その他学生の修学に関する援助

その他の情報

●キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区 分	20年度	21年度	22年度
I 業務活動によるキャッシュ・フロー			
原材料、商品又はサービスの購入による支出	△ 8,460	△ 9,104	△ 8,564
人件費支出	△ 15,811	△ 15,587	△ 15,587
その他の業務支出	△ 956	△ 1,108	△ 956
運営費交付金収入	10,671	10,916	10,708
授業料収入	3,057	3,025	3,018
入学金収入	445	443	441
検定料収入	126	112	127
附属病院収入	10,908	11,356	12,093
受託研究等収入	354	451	454
受託事業等収入	273	203	172
補助金等収入	337	1,686	778
寄附金収入	388	581	549
その他の業務収入	232	284	277
預り金等増減	△ 12	8	38
小 計	1,552	3,266	3,548
国庫納付金の支払額	0	0	△ 604
業務活動によるキャッシュ・フロー計	1,552	3,266	2,944
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券の取得による支出	△ 201	△ 201	△ 201
有価証券の償還による収入	200	200	200
有形固定資産の取得による支出	△ 3,213	△ 4,626	△ 4,447
無形固定資産の取得による支出	△ 21	△ 36	△ 33
有形固定資産及び無形固定資産の売却による収入	0	0	0
定期預金への預入れによる支出	△ 23,200	△ 15,000	△ 6,000
定期預金の払戻しによる収入	24,700	16,000	6,000
施設費による収入	1,628	1,399	609
小 計	△ 106	△ 2,263	△ 3,872
利息及び配当金の受取額	45	32	18
投資活動によるキャッシュ・フロー計	△ 61	△ 2,232	△ 3,854
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入れによる収入	991	1,169	3,640
長期借入金の返済支出	△ 65	△ 104	△ 156
リース債務の返済による支出	△ 479	△ 488	△ 441
国立大学財務・経営センター債務負担金の返済支出	△ 663	△ 555	△ 500
小 計	△ 216	22	2,543
利息の支払額	△ 222	△ 208	△ 217
財務活動によるキャッシュ・フロー計	△ 438	△ 186	2,326
IV 資金増減額	1,054	848	1,416
V 資金期首残高	1,196	2,249	3,098
VI 資金期末残高	2,249	3,098	4,514

★業務活動によるキャッシュ・フロー:教育、研究、診療等の実施にかかる収入・支出です。

★投資活動によるキャッシュ・フロー:固定資産の取得等、将来に向けた運営基盤の確立のために行われる投資活動です。

★財務活動によるキャッシュ・フロー:資金調達及び返済にかかるキャッシュ・フローです。

決算の概要

●決算報告書

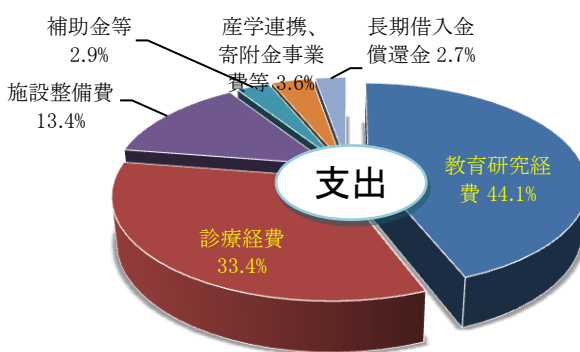
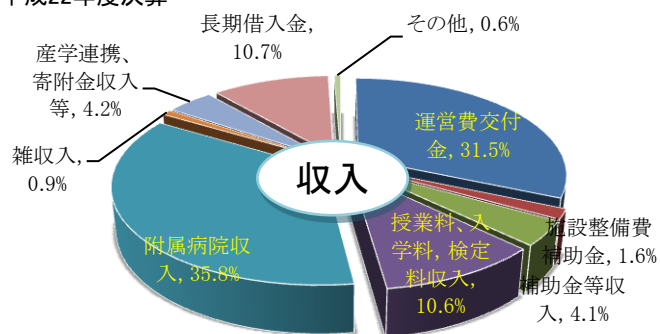
決算報告書は、発生主義の会計認識により減価償却費等が計上される財務諸表とは異なり、現金主義を基本とした国の会計認識基準により、年度計画予算と決算額を比較したものです。

(単位:百万円)

区 分	21年度			22年度		
	予算額	決算額	増減	予算額	決算額	増減
(収入)						
運営費交付金	10,916	10,918	2	10,708	10,708	0
施設整備費補助金	1,194	1,343	149	617	556	△ 61
補助金等収入	155	1,859	1,704	1,124	1,377	253
自己収入	14,249	15,227	978	15,156	16,023	867
授業料、入学科及び検定料収入	3,643	3,580	△ 63	3,649	3,587	△ 62
附属病院収入	10,434	11,335	901	11,336	12,143	807
雑収入	172	312	140	171	293	122
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	950	1,279	329	962	1,441	479
長期借入金	1,355	1,169	△ 186	5,939	3,640	△ 2,299
その他	1,075	1,559	484	56	198	142
収入計	29,894	33,354	3,460	34,562	33,943	△ 619
(支出)						
業務費	22,879	23,459	580	24,991	24,620	△ 371
教育研究経費	13,120	12,062	△ 1,058	14,528	14,002	△ 526
診療経費	9,759	11,397	1,638	10,463	10,618	155
一般管理費	2,449	2,778	329	—	—	—
施設整備費	2,605	2,568	△ 37	6,612	4,249	△ 2,363
補助金等	155	1,849	1,694	1,124	918	△ 206
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	949	996	47	962	1,130	168
長期借入金償還金	857	856	△ 1	873	856	△ 17
支出計	29,894	32,506	2,612	34,562	31,773	△ 2,789
収入－支出	0	848	848	0	2,170	2,170

※22年度「一般管理費」については「教育研究経費」に含む。

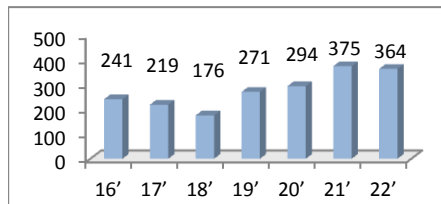
平成22年度決算



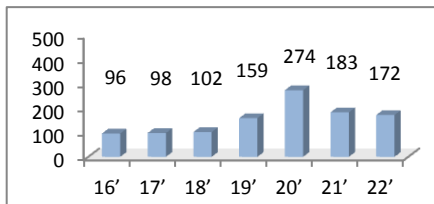
外部資金受入状況

(単位:百万円)

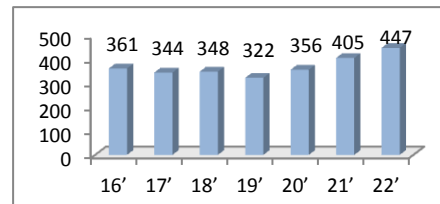
●受託研究費



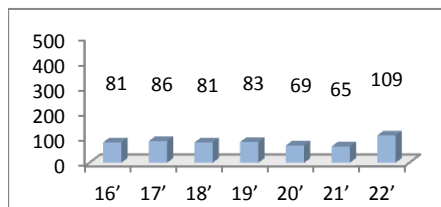
●受託事業



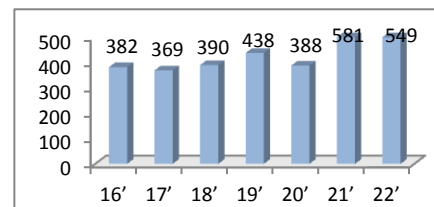
●科学研究費補助金



●共同研究



●寄付金



●財務指標

区 分		20年度	21年度	22年度	増減
人件費比率(%) ↓		59.2%	57.7%	58.6%	0.90%
人件費÷業務費	(Gグループ平均)	56.4%	54.0%	%	%
	(全国立大学平均)	55.3%	53.6%	%	%
一般管理費比率(%) ↓		3.8%	4.2%	3.7%	△0.5%
一般管理費÷業務費	(Gグループ平均)	3.2%	3.4%	%	%
	(全国立大学平均)	3.5%	3.7%	%	%
外部資金比率(%) ↑		3.5%	3.5%	3.4%	△0.1%
(受託研究等収益+受託事業等収益+寄附金収益) ÷経常収益	(Gグループ平均)	5.1%	4.8%	%	%
	(全国立大学平均)	9.3%	8.9%	%	%
業務費対研究経費比率(%) ↑		5.3%	5.6%	4.8%	△0.8%
研究経費÷業務費	(Gグループ平均)	5.3%	5.6%	%	%
	(全国立大学平均)	9.1%	9.5%	%	%
業務費対教育経費比率(%) ↑		6.7%	6.3%	5.4%	△0.9%
教育経費÷業務費	(Gグループ平均)	5.0%	5.7%	%	%
	(全国立大学平均)	5.8%	6.5%	%	%
診療経費比率(%) ↓		59.2%	62.1%	58.4%	△3.7%
診療経費÷附属病院収益	(Gグループ平均)	63.5%	65.8%	%	%
	(全国立大学平均)	64.7%	66.4%	%	%
附属病院収益対長期借入金返済比率(%) ↓		6.7%	5.8%	5.3%	△0.5%
(長期借入金返済+財務経営センター納付金) ÷附属病院収益	(Gグループ平均)	9.9%	9.3%	%	%
	(全国立大学平均)	12.0%	10.6%	%	%
学生当業務コスト(千円) ↑		2,146	2,210	1,958	△252
業務コスト÷学生実員(*1)	(Gグループ平均)	1,821	1,972		
	(全国立大学平均)	2,167	2,280		
学生当教育経費(千円) ↑		284	275	229	△46
教育経費÷学生実員(*1)	(Gグループ平均)	206	246		
	(全国立大学平均)	230	266		
教員当研究経費(千円) ↑		1,852	1,962	1,657	△305
研究経費÷教員実員(*2)	(Gグループ平均)	1,979	2,167		
	(全国立大学平均)	3,263	3,480		

(平成23年 月 日 文部科学省報道発表資料「国立大学法人等の平成22事業年度財務諸表の概要」より抜粋)

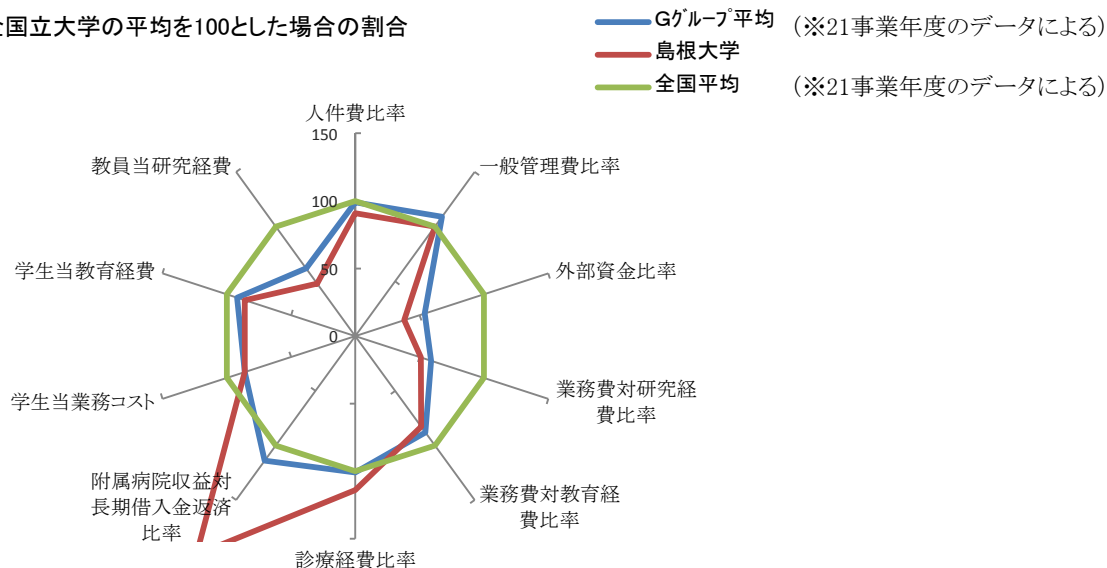
*1 「学生実員」とは、学部生、修士、博士、専門学位を指します。

*2 「教員実員」とは、常勤の教員(任期付き教員を含む。)を指します。

注) ↑は値が大きい(高い)ほうが望ましい。また、↓は値が小さい(低い)ほうが望ましい。

Gグループとは、医科系及びその他の学部で構成し、学生収容定員が1万人未満、学部数が10学部未満の国立大学で、25大学が属しています。(弘前、秋田、山形、群馬、富山、金沢、福井、山梨、信州、岐阜、三重、鳥取、島根、山口、徳島、香川、愛媛、高知、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、琉球)

★ 国立大学の平均を100とした場合の割合



指標が低いものが望ましいもの(人件費比率、一般管理費比率、診療経費比率、附属病院収入対長期借入金返済比率)については、指標数値割合の逆数を用いています。